

# 日本の大学数 2022年度は790大学

大学数は数字上2021年度から4増2減も、実質4校増

旺文社 教育情報センター 2022年6月21日

当記事では、2022年度時点での日本の大学数をまとめた。あわせて、全国の大学の学部・学科数、学べる学問分野の設置状況なども掲載した。日本の大学に関する基礎データとして示したい。

※本稿の集計データは『螢雪時代4月臨時増刊、8月臨時増刊』（旺文社）ならびに文部科学省資料を基にしている。

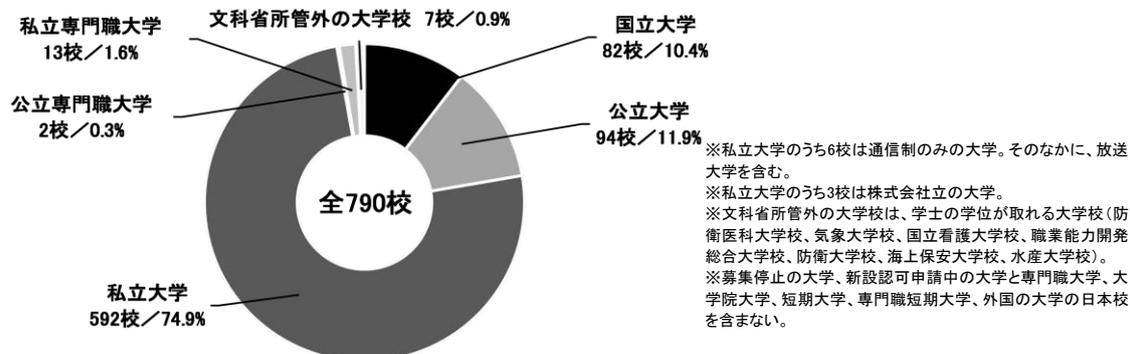
## ■全790校のうち、4分の3を私立大学が占める

2022年度の日本の大学数は、図表1に示した通り790校だ。大学数は資料によって集計の対象が異なり、数値が異なる。たとえば文部科学省『令和3年度 学校基本調査』では、803校となっている。ここには、学生募集を停止していても在籍者がいる大学、大学院のみの大学などが含まれている。当記事では大学数は790校とした。ここには学士課程の学生募集を停止した大学を含まず、文科省所管外の大学校で、「学士」の学位が取れる防衛医科大学校などは含んでいる。

昨年度、同じ基準で当センターが算出した大学数は788大学だった。今年度、4大学増加し、2大学減少した（減少は統合によるもの）。少子化で18歳人口が減少中だが、大学数は増加している。

国立・公立・私立などの構成比も昨年度とは大きく変わらない。4分の3を私立大学が占めており、国立大学、公立大学は1割程度である。

【図表1】2022年度 日本の大学数の内訳



[図表2] 2022年度 学部数・学科数の設置者別の内訳

	学部数	占有率	学科数	占有率
国立大学	390	15.5%	908	17.3%
公立大学	208	8.3%	445	8.5%
私立大学	1,895	75.5%	3,850	73.5%
公立専門職大学	2	0.1%	2	0.0%
私立専門職大学	15	0.6%	25	0.5%
文科省所管外の大学校	1	0.0%	11	0.2%
合計	2,511	—	5,241	—

※「学部組織なし」「学科組織なし」は集計から除外。  
 ※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

学部・学科数も、私立大学が4分の3程度を占める。国立大学は大学数では1割を占める程度だが、学部・学科数は占有率が上がり、ともに15%を超える。逆に、公立大学は占有率が下がる。この理由は、多くの国立大学は複数の学部がある総合大学である一方、公立大学は看護・医療など単科大学が多いからだ。

### ■大学新設と統合の動き

図表3に2022年度の新設大学を示した。校名変更された大学および統合のあった大学も併載した。大学数に関して、冒頭に2減と記したが、2校とも統合によるものだ。大阪市立大学と大阪府立大学が統合され、大阪公立大学となった。また、兵庫医科大学が兵庫医療大学を統合した。

専門職大学の開設は2019年度から始まり、2022年度までの4年間で計15校開設された。来年の開設に向けて既に5校、新設認可申請が行われている。

周南公立大学は私立大学から公立大学へ設置者が変更され、校名を変更した。私立から公立へ変更された大学は図表4にまとめた。2009年度の高知工科大学を皮切りに、周南公立大学で11校目となった。今後も私立から公立化される動きは見られるだろう。

[図表3] 2022年度の新設大学、校名変更大学、統合した大学

設置	所在地	大学名	
公立大学	神奈川	川崎市立看護大学	新設
私立大学	大阪	大阪信愛学院大学	新設
私立大学	福岡	令和健康科学大学	新設
私立専門職大学	茨城	アール医療専門職大学	新設
公立大学	大阪	大阪公立大学	統合と校名変更(※1)
私立大学	兵庫	兵庫医科大学	統合(※2)
私立大学	北海道	育英館大学	校名変更(※3)
私立大学	兵庫	神戸医療未来大学	校名変更(※4)
公立大学	山口	周南公立大学	私立→公立。校名変更(※5)

(※1)大阪市立大学と大阪府立大学が統合して校名変更 (※2)兵庫医療大学を統合  
 (※3)旧校名: 稚内北星学園大学 (※4)旧校名: 神戸医療福祉大学 (※5)旧校名: 徳山大学

[図表4] 私立から公立化された大学

年度	大学名	年度	大学名
2009年度	高知工科大学	2016年度	山陽小野田市立山口東京理科大学
2010年度	静岡文化芸術大学	2017年度	長野大学
2010年度	名城大学	2018年度	公立諏訪東京理科大学
2012年度	公立鳥取環境大学	2019年度	公立千歳科学技術大学
2014年度	長岡造形大学	2022年度	周南公立大学
2016年度	福知山公立大学		

【図表5】2022年度 既設大学における新設学部・学科数の状況

	学部の新設		学科の新設	
	大学	新設学部(学科)	大学	新設学科
国立大学	1大学	1学部(1学科)	6大学(7学部)	7学科
公立大学	なし	なし	2大学(2学部)	3学科
私立大学	31大学	45学部(66学科)	33大学(41学部)	48学科

※図表5で示した新設＝設置認可申請、設置届出に加えて、名称変更も含む。ただし、認可申請や届出があっても名称が同じ場合は集計対象外とした。他方、名称変更は集計した。学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

図表5は、既設大学における新設学部・学科数と、既設学部での新設学科数を示したものだ。新設学部・学科は医療系、国際系、教育系など幅広い分野で見られた。学部・学科の新設に関して地域に関する傾向も見られず、ほぼどの地域でも行われている。

### ■日本の大学で学べる学問分野。医療・保健学が増加

図表6は、日本の大学で学べる71の学問分野を、学べる学科数が多い順に並べたものだ。最も多い学科は経営学・経営情報学・商学・会計学。理系の学科と異なり設備投資があまり必要なく、企業を支える実学であることが挙げられる。2位は医療・保健学。1位、2位ともに私立大学が多く、学科数の約8割が私立大学である。

次ページの図表7は、学問分野別の学科数を3年前の2019年度と比較し、学科数が増えた上位の分野を示したものだ。医療・保健学が最も増加した。その他、「数学・情報科学」や「情報工学」など、数理・データサイエンス・AI教育系の学科も引き続き増加傾向が見られる。

【図表6】2022年度 学問分野別 学べる学科数[全大学集計]

	学問分野	学科数		学問分野	学科数		学問分野	学科数
1	経営学・経営情報学・商学・会計学	499	25	史学・地理学	138	49	住居学	53
2	医療・保健学	357	26	生物学・生命科学	135		美術	53
3	社会学・観光学・メディア学	352	27	政治学・政策学	134	51	家政・生活科学	51
4	語学	340	28	応用化学	133	52	航空・宇宙工学	44
5	国際関係学・国際文化学	332	29	特別支援教育課程	124	53	畜産学・動物学	43
6	情報工学	309	30	環境科学分野/その他	112	54	地学	41
7	看護学	297		薬学	112	55	農業経済学	40
8	経済学	277	32	食物学	107		被服学	40
9	小学校・幼稚園課程	274	33	土木工学	104	57	応用物理学	38
10	心理学	260	34	人間科学分野/人文系その他	101	58	水産学	37
11	文学	251	35	哲学	96	59	農業工学	35
12	文化学	240	36	農学	87		工芸	35
13	機械工学	212	37	生物工学	86		教養学	34
14	電気・電子工学	202	38	物理学	85	61	養護教諭課程	34
15	社会福祉学	194	39	農芸化学	83	63	森林科学	33
16	児童学・子ども学	182	40	医学	82	64	経営工学・管理工学	31
	体育・健康科学	182	41	化学	80	65	歯学	29
18	数学・情報科学	175	42	医用・生体工学	75	66	獣医学	17
19	芸術系その他(CG等含む)	169	43	教育学	74	67	資源工学	15
20	法学	166	44	生物生産・生物資源学	67	68	船舶・海洋工学・商船学	14
21	建築学	163	45	材料工学	64	69	原子力工学	9
22	デザイン	146	46	総合科学	62	70	教育支援等その他	6
23	中学校課程	144	47	光工学分野/その他	57	71	高等学校教員養成課程	2
24	栄養学	143	48	音楽	55			

※学問分野は『蜚雪時代』(旺文社)の分類による。

※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。

※学科組織がない場合は、学部をカウント。

※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

[図表7]

2019年度と比較して、学べる学科数が増えた  
学問分野[上位10分野/2022年度 全大学集計]

学問分野	増えた学科数
医療・保健学	31
経営学・経営情報学・商学・会計学	20
国際関係学・国際文化学	19
数学・情報科学	17
経済学	15
心理学	13
語学	12
中学校課程	12
情報工学	12
社会学・観光学・メディア学	11
看護学	11
栄養学	11

※学問分野は『蜚雪時代』(旺文社)の分類による。  
※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。  
※学科組織がない場合は、学部をカウント。  
※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

## ■国公立大学別の学べる学問分野。国立・公立・私立の特徴

図表8からは、国公立大学それぞれの特徴が見える。

国立大学では情報工学、機械工学、電気電子工学と、上位に工学系が並んだ。工学部の学生が全体の3割弱を占める国立大の特徴が、応用化学、土木工学などのランクインとともに見られる。国公立全体では多かった経営学・経営情報学・商学・会計学は14位と、あまり多くなかった。

公立大学では看護学がトップ。医療・保健学、社会福祉学、栄養学、食物学など地域との結び付きがうかがえる分野がランクインしている。デザインが上位に入ったことも他と異なる。

私立大学は経営学・経営情報学・商学・会計学が2位を大きく引き離しての1位。2位は語学で、国公立とは異なる傾向が見られた。

## ■エリア別の学問分野。エリアによっては、一部学べない分野も

次ページの図表9では、学問分野別の学科数をエリア別に集計し、上位20分野を示した。

[図表8] 2022年度 [国公立大学別] 学問分野別 学べる学科数[上位20分野]

国立大学		公立大学		私立大学	
学問分野	学科数	学問分野	学科数	学問分野	学科数
1 情報工学	75	1 看護学	50	1 経営学・経営情報学・商学・会計学	406
2 機械工学	71	2 経営学・経営情報学・商学・会計学	45	2 語学	292
3 電気・電子工学	69	3 情報工学	37	3 医療・保健学	288
4 数学・情報科学	67	4 国際関係学・国際文化学	29	4 社会学・観光学・メディア学	285
5 応用化学	60	5 医療・保健学	28	5 国際関係学・国際文化学	273
6 小学校・幼稚園課程	53	6 経済学	26	6 小学校・幼稚園課程	217
7 土木工学	52	7 社会学・観光学・メディア学	24	7 心理学	213
8 中学校課程	51	8 語学	23	8 文学	206
9 生物学・生命科学	48	9 社会福祉学	23	9 経済学	205
10 農学	47	10 デザイン	23	10 看護学	203
11 特別支援教育課程	46	11 文化学	22	11 情報工学	188
12 経済学	46	12 栄養学	20	12 文化学	181
13 建築学	45	13 文学	18	13 児童学・子ども学	172
14 経営学・経営情報学・商学・会計学	44	14 電気・電子工学	17	14 社会福祉学	167
15 物理学	43	15 建築学	17	15 体育・健康科学	164
16 社会学・観光学・メディア学	42	16 環境科学分野/その他	16	16 芸術系その他(GG等含む)	145
17 医学	42	17 機械工学	16	17 法学	123
18 看護学	42	18 数学・情報科学	15	18 機械工学	123
19 法学	39	19 政治学・政策学	12	19 栄養学	120
20 材料工学	39	20 応用化学	12	20 電気・電子工学	114
21 農芸化学	39	21 食物学	12		
22 生物生産・生物資源学	39				

※学問分野は『蜚雪時代』(旺文社)の分類による。 ※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。 ※学科組織がない場合は、学部をカウント。  
※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

【図表9】2022年度【エリア別】学問分野別 学べる学科数[上位20分野/全大学集計]

北海道・東北		関東・甲信越		北陸・東海	
学問分野	学科数	学問分野	学科数	学問分野	学科数
1 経営学・経営情報学・商学・会計学	42	1 経営学・経営情報学・商学・会計学	225	1 経営学・経営情報学・商学・会計学	69
2 看護学	33	2 社会学・観光学・メディア学	174	2 語学	56
3 情報工学	32	3 国際関係学・国際文化学	169	3 看護学	46
4 医療・保健学	31	4 医療・保健学	145	4 医療・保健学	45
5 社会福祉学	28	5 語学	143	5 小学校・幼稚園課程	42
6 小学校・幼稚園課程	23	6 文学	128	6 国際関係学・国際文化学	42
7 経済学	23	7 経済学	123	7 社会学・観光学・メディア学	41
8 心理学	22	8 情報工学	122	8 情報工学	41
9 文化学	21	9 文化学	108	9 心理学	37
10 社会学・観光学・メディア学	20	10 看護学	107	10 文化学	37
11 機械工学	20	11 心理学	104	11 機械工学	33
12 農学	20	12 小学校・幼稚園課程	96	12 経済学	32
13 電気・電子工学	19	13 機械工学	90	13 電気・電子工学	29
14 法学	17	14 電気・電子工学	87	14 体育・健康科学	28
15 体育・健康科学	17	15 数学・情報科学	85	15 児童学・子ども学	27
16 建築学	16	16 法学	83	16 文学	26
17 農芸化学	16	17 芸術系その他(CG等含む)	78	17 中学校課程	24
18 デザイン	16	18 体育・健康科学	77	18 社会福祉学	23
19 人間科学分野/人文系その他	15	19 社会福祉学	73	19 建築学	19
20 中学校課程	15	20 政治学・政策学	69	20 栄養学	19
児童学・子ども学	15			21 デザイン	19
				22 芸術系その他(CG等含む)	19

関西		中国・四国		九州	
学問分野	学科数	学問分野	学科数	学問分野	学科数
1 経営学・経営情報学・商学・会計学	78	1 経営学・経営情報学・商学・会計学	52	1 経営学・経営情報学・商学・会計学	48
2 社会学・観光学・メディア学	78	2 医療・保健学	37	2 語学	39
3 語学	74	3 小学校・幼稚園課程	33	3 医療・保健学	34
4 医療・保健学	71	4 情報工学	33	4 情報工学	32
5 国際関係学・国際文化学	63	5 看護学	32	5 看護学	32
6 小学校・幼稚園課程	61	6 心理学	25	6 経済学	31
7 心理学	55	7 経済学	25	7 国際関係学・国際文化学	29
8 情報工学	54	8 社会学・観光学・メディア学	24	8 小学校・幼稚園課程	24
9 看護学	52	9 語学	23	9 社会学・観光学・メディア学	24
10 文学	50	10 児童学・子ども学	23	10 社会福祉学	23
11 経済学	50	11 機械工学	22	11 電気・電子工学	23
12 芸術系その他(CG等含む)	45	12 文学	21	12 心理学	22
13 文化学	43	13 特別支援教育課程	19	13 機械工学	21
14 史学・地理学	36	14 社会福祉学	19	14 建築学	21
15 児童学・子ども学	36	15 電気・電子工学	19	15 法学	20
16 数学・情報科学	35	16 栄養学	19	16 文学	19
17 社会福祉学	33	17 文化学	18	17 文化学	19
18 建築学	31	18 国際関係学・国際文化学	18	18 特別支援教育課程	17
19 デザイン	31	19 応用化学	18	19 栄養学	16
20 電気・電子工学	30	20 体育・健康科学	18	20 児童学・子ども学	16
21 体育・健康科学	30				

※学問分野は『産学時代』(旺文社)の分類による。※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。※学科組織がない場合は、学部をカウント。  
 ※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。  
 ※学科の履修地が複数ある場合(選択制、コースによって変わる、学年で変わるなど)、それぞれのエリアにカウント。大学本部のみ判明の場合は本部所在地にカウント。

エリア別に見てみると、どのエリアでも経営学・経営情報学・商学・会計学が1位となった。医療・保健学や看護学も上位に入った。

一方、エリアによって異なることは、北海道・東北で農学が上位だった。また、関西では社会学・観光学・メディア学が上位だった。他には、国際関係学・国際文化学は大都市圏のあるエリアで上位に見られる傾向がある。

学科数の少ない学問分野は、エリアによっては学べないことがある。たとえば船舶・海洋工学・商船学、経営工学・管理工学、原子力工学などはエリアによっては学べない。

(2022.6 今村)